

# 日本市場向け新製品の投入でさらに競争力アップ図る SMA ジャパン 今津武士代表取締役

パワーコンディショナ(以下パワコン)のトップメーカーであるSMA Solar Technology AGの日本法人SMAジャパンは2011年6月14日の設立。2015年には日本市場でのパワコン販売容量が1GWに到達した。日本では、住宅用、産業用、メガソーラー用全ての分野で商品を提供している。SMAジャパンの今津武士代表取締役は、今後さらなる成長を目指して新製品を投入し、国内シェア10%の獲得を目指す。

## —SMAジャパンの国内販売容量が1GWを超えた

**今津** SMA Solar Technology AGは、200Wから2.5GWまで実に幅広い製品群を提供しており、グローバルで35GW以上の納入実績がある。

2011年に日本法人を設立し、固定価格買取制度が実施された2012年より本格的な販売を開始。住宅用からメガソーラー用まで日本市場特有の要件に合わせた高効率・高品質のパワコンを提供しており今後も製品群を拡充していく。

SMAの強みは、例えば大型パワコンの場合、重塩害地域を含め屋外設置が可能である。冷却用のエアコンが不要なためインシヤルコストやランニングコストを大幅に低減できる。幅広い出力レンジで高

い電力変換効率を実現し20年間にわたる長期事業期間において売電量に大きな差が出てくる。さらにSMAのパワコンは設計寿命が20年であることから長期的な信頼性を実現している。日本はメガソーラーの建設が急速に拡大し、パワコンの選定は当初性能より初期コストを重視する傾向があった。しかし太陽光発電システムやパワコンに対する知見が広まることで、パワコンの世界トップメーカーとしてSMAの信頼性が高まっている。

## —日本市場の特長は何かあるのか

**今津** メガソーラーの場合、ゴルフ場跡地など高低差が大きい土地を利用するケースが増えており小型パワコンを使用する分散型の事

例が急増している。今後、立地条件が次第に厳しくなることからSMAでは日本市場向けに高圧システムの分散システムに特化した「SUNNYT TRIPOWER25000TL-JP」(25kW、1000V対応)を投入した。日本市場に適した製品開発がまさに成果につながっている。

メガソーラー向けには、大型パワコンに加えコンテナ型オールインワンパッケージ、そして小型パワコンを利用した分散型、とあらゆるニーズにも対応できるようにしている。北海道から九州まで全国の太陽光発電所300案件以上、約1,000台の導入実績があり引き合いが続いている。

コンテナ型ソリューション「MV POWER STATION」は、コンテナにメガソーラー用パワコン、変圧器、ス

## 日本国内パワーコンディショナ販売1GW超達成 トレーニングプログラムで技術向上図る

SMAは、世界100カ国以上の地域で35GW以上のパワーコンディショナ納入実績があり年産能力は15GW。19カ国に販売拠点があり、2014年度の売上げはグループで800百万ユーロ超。製品は系統接続のあらゆる太陽電池モジュールや発電システムに対応し、住宅用、産業用、メガソーラー用、オフグリッド用のパワーコンディショナを揃えている。日本法人SMAジャパンは2011年6月14日に設立。2015年には日本におけるパワーコンディショナの販売容量が1GWに到達した。住宅用からメガソーラー用まで日本市場特有の要件に合わせた高効率・高品質のパワーコンディショナを提供している。また、太陽光発電プロジェクトのプランニング時に必要な専門技術も提供しデベロッパー、EPC事業者、代理店と長

期的な関係を構築している。さらに、専門性が高く実践に重きを置いたパワコンのトレーニングプログラムSMA Solar Academyも開講している。





今津武士氏

イチギア納め、数百MWクラスまで利用可能なオールインワンパッケージとした。500kWから1760kWまでのパワコンと変圧器を組み合わせ、配線、試運転調整も事前に施されているため設置費用の削減が可能になる。多くの市場予測にあるように

力制御システムの実用化に向けた実証事業協力事業者として参画している。

SMA本社があるドイツでは、すでに家庭用は売電するのではなく蓄電池を組み合わせることで自家消費をしており、日本も同じ方向へ向かっ

国内のメガソーラーの建設計画は、この先3年は継続すると見ており、実績を積み上げていく考えだ。

——このほか一般家庭向けの市場はどう見ているか

今津 日本市場向けのSMAパワコンは全て発売当初より出力制御に対応しており、現在九州電力が実施する出

ている。蓄電池を選択する場合、現在日本の開発動向は特定のメーカーに依存する傾向にあるが、SMAはパワコンメーカーとしてメーカーや製品へ柔軟に対応することが可能なため、お客様にとって選択肢が増え販売代理店にとって魅力的な製品だろう。

SMAが日本市場で急成長している背景には、幅広い製品ラインアップに加え、質の高いサービスサポートに力を入れてきた点にある。2013年東京本社に開設したSMA Solar Academyには、すでに500人近くがパワコンのトレーニングを受け、安全で正しい施工方法を取得する技術を学んでいる。モノ作りに実直な社風で、信頼性を重視する姿勢が評価されている。新製品の準備も進めており、日本市場で10%のシェア獲得を目指す。

## 2015年にパワーコンディショナ2機種発売 S Iソーラーも25kW機種発売



MV POWER STATION

SMAジャパンは、2015年日本市場向けにパワーコンディショナ(以下パワコン)を2機種発売した。1つは、高圧分散システムに特化した三相25kWのパワコン「SUNNY TRIPOWER 25000TL-JP」。もう1つは数百MWクラスまで利用可能な大規模発電所特高向けのコンテナソリューション「MV POWER STATION」。

「SUNNY TRIPOWER 25000TL-JP」は、大規模な分散型高圧発電システムに適しており最大効率98.3%を誇る。稼働中のスイッチングノイズは限りなく無音に近く静粛性に優れており、静粛性が求められる民家に近い発電所、学校、病院などの公共施設、工場の屋根、集合住宅の屋根に適している。SMA Cluster Controller を併用することで、最大75台までのパワコ

ンを監視・制御する。

「MV POWER STATION」は、メガソーラー用パワコンに加え、変圧器、スイッチギアをコンテナに納めたオールインワンパッケージ製品。500kWから1760kWまで多様な出カクラスのパワコン1台または2台に対応する変圧器を組み合わせることで構成し、配線、試運転調整が事前に施されているため設置費用の削減に繋がる。

家庭用・産業用太陽光発電システムを販売するS Iソーラーは、SMA社の「SUNNY TRIPOWER 25000TL-JP」(25kW)の扱いを開始した。販売目標は年間1,000台。25kWの他、日本市場向けに開発されたSMAパワコン9.9kW、10kWも販売している。



SUNNY TRIPOWER 25000TL-JP